



刈谷南中学校新聞

第433号 令和7年10月 2日
刈谷市立刈谷南中学校
刈谷市住吉町2丁目1番地
電話0566-21-0025

「輝く生徒」～新たな伝統、そしてシンカ～

校長 葉山 靖彦

9月30日。秋晴れの運動場には、はつらつと動き回る生徒の姿、真剣に記録に挑戦する姿、雰囲気を楽しみながら大きな声で声援を送る姿があちこちに見られました。

昨年度より、個人種目中心の体育大会の在り方を変更しました。生徒の「みんなが楽しめる体育大会にしたい」という思いを受け、集団種目を中心に据え、生徒が主体となって運営するとともに、縦割り活動（3学年が交流しながら行う活動）を積極的に取り入れ、生徒の手による、楽しめる体育大会を目指してきました。

今年の体育大会のスローガン「スポットライトは全員に！輝け、南中ドリーム」を受け、当日の朝の各教室には、「主体的に」「全力で楽しむ」「これぞ、我らの体育大会！」などの言葉がありました。これらの言葉どおり、運動場のあちこちで光り輝く生徒の姿が見られました。特に、3年生は練習からリーダーシップを発揮し、いち早く応援を始めたり、全力で競技を楽しんだり、係の仕事に率先して取り組んだりする姿を見せてくれました。それに応え、体育大会本番では、どの学年も最後まで応援を続け、各競技にも全力で取り組み、楽しむ姿がありました。また、自分の学年・学級に留まらず、縦割りグループの他学年にも拍手や声援を送る温かな姿もありました。

昨年度から新しい形になった体育大会が、今回はさらにレベルアップした内容になりました。刈南中の体育大会が新しい「伝統」を作り、それが「シンカ」していることを感じました。これからも学校行事や学習活動に全力で取り組み、素晴らしい学校生活を創り上げていきましょう。

お忙しい中、来校くださったたくさんの保護者の皆様、来賓の皆様、ありがとうございました。



後輩の心の支えに

9月17日に新人戦大会の選手激励会を実施しました。各部の新キャプテンが全校生徒の前で全力の決意表明を行い、そんな後輩の姿を3年生が温かいまなざしで見守っていました。さらに、3年生の部長会は応援団を結成し、後輩たちの背中を押すような演舞を披露し、全力の応援歌で選手を激励しました。部活動で築いた「絆」を感じる姿に感動しました。



大健闘！！～新人戦大会

9月20日から2週にわたって行われた新人戦大会は、2年生中心の新しいチームにとって、初めての大会でした。夏休みから練習を積み重ねた成果を試す大会なので、全力を出し切ったうえで、チームの課題や強みを見つけることが次につながる大会です。よい成績を収めた部が多く、大健闘でしたが、この結果に満足せず、さらなる高みを目指してもらいたいです。

★★★刈谷市中学校新人戦大会結果★★★

優勝	野球、ソフトボール、卓球男子、剣道女子 陸上男子、陸上女子
準優勝	ソフトテニス男子
第3位	ソフトテニス女子、バレーボール男子、バレーボール女子 バスケットボール男子、弓道男子、弓道女子
個人1位	陸上：400m 野村匠平、100m 女 中村乙葉（新記録） 1500m 鈴木心（新記録）、砲丸投げ男子 牧尾航汰 4×100mR 男子、4×100mR 女子、 走り高跳び男子 高橋礼衣 走り高跳び女子 柴田梨央 水泳：200m 個人メドレー 大野咲良 100m 自由形 大野咲良
個人3位	剣道：岡田紗季



研究発表会に向けて

10月8日に刈谷市教育委員会指定の研究発表会が行われます。これまで、本校では、「共創する生徒」をテーマに研究を進めてきました。「共創」という言葉が生徒たちにも浸透し、授業だけでなく、行事や生徒会活動などの場面で、生徒の口から出てくるようになりました。いよいよ当日が近づいてきて、授業に熱が入ってきました。各教科で、市役所のまちづくり推進課の方、危機管理課の方、刈谷市内にチームがあるバドミントン選手など、多くの地域の方も巻き込んで、授業を共に創り上げています。当日は、350人を超える参観者が来校する予定になっており、この研究発表会を機会に教職員全員で力を合わせて研鑽を積んでいます。

